緊急シンポジウム

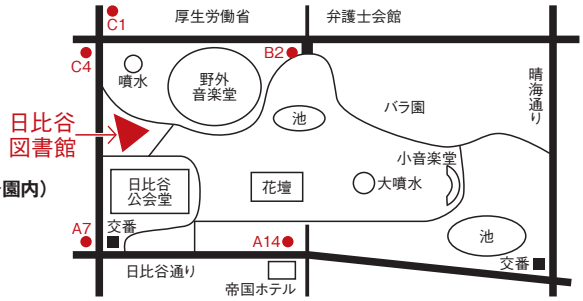
何をめざすか―
安倍政権の教育政策

第１次安倍政権は教育基本法を改悪し、それに基づいて愛国心と競争を煽る学習指導要領が制定されました。第２次安倍政権は「強い日本をとりもどす」ための「教育再生」を重点政策にかかげて、教育を大きく変えようとしています。子どものための教育ではなく、国家のための教育をめざすもので、憲法を改悪して「強い日本」「戦争をする国」づくりと連動させたものです。そのための「人材」養成に教育・教科書を利用するものです。安倍教育政策の内容と問題点を浮き彫りし、私たちが取り組むべき課題を明らかにし、そのことの意義を世に問うシンポジウムです。

日時 2013年4月12日(金)
18時30分～21時

会場 千代田区
日比谷図書文化館
日比谷コンベンションホール（日比谷公園内）

地下鉄　霞ヶ関駅B2、C1、C4出口徒歩3分
内幸町駅A4出口徒歩2分
日比谷駅徒歩4分



◆報告１◆「安倍政権の教育政策は何がどのように危ないのか」
俵　義文（子どもと教科書全国ネット２１事務局長）

◆報告２◆「安倍政権のいじめ防止対策の問題点」（仮題）
村山　裕（弁護士・東京中央法律事務所）

◆報告３◆「教育制度『改革』の問題点-教育委員会と教員に対する攻撃」（仮題）
世取山　洋介（新潟大学准教授）

＊コーディネータ　小沢　隆一（慈恵医科大学教授）

資料代 500円（学生無料、事前予約不要）

主催：子どもと教科書全国ネット21／日本民主法律家協会
協賛：平和と民主主義のための研究団体連絡会議
安倍教育政策NO・平和と人権の教育を！ネットワーク

連絡先　TEL：03-3265-7606（教科書ネット）／03-5367-5430（日民協）